

平成30年度 農林水産業版タウンミーティング（農業版：青森西部地区）会議概要

日 時：平成30年8月29日（水）18：00～19：30

場 所：西部市民センター 2階 学習室3

参加者数：6名

市側出席者：市長、農林水産部長、農林水産部次長、農林水産部参事（あおりり産品支援課長事務取扱）、農業政策課長、農地林務課長、農業振興センター所長、農業委員会事務局次長

■主なご意見・要望等

○三内地区の高速道路南側の山あいではほとんどが耕作放棄地になっており、これからますます増えていくことが予想される。市ではどのように考えているのか教えてもらいたい。

⇒耕作放棄地の解消に向けては、市と農業委員会が連携して取り組んでおり、農業委員会では「農地利用最適化推進委員」と「農業委員」が農地パトロールを実施し、遊休農地及びその恐れのあるものについて、所有者等に対する意向調査を実施しており、貸付の意向があるものについては、市が農地中間管理機構への貸付に向けた手続き等を行っている。

今後とも「ほ場整備事業」の活用や、「農地中間管理事業」による離農者の農地のマッチングを進めるとともに、農業委員会と連携しながら耕作放棄地の解消、抑制に取り組んでいきたい。

○西部地区でもほ場整備を進めてもらいたい。

⇒ほ場整備を進めるにあたって、「受益者の90%以上からの要望書の提出」、「面積20ha以上」、「事業着手までに受益者全員からの同意が必要」というハードルがある。ほ場整備を実施するには地域の合意形成が非常に大事になることから、市としては、ほ場整備事業についての説明会を行い、ほ場整備が進むように努力したい。

○りんご黒星病の特効薬の開発を急ぐよう、県と共同して国やメーカーの方に働きかけて欲しい。

⇒先日、農林水産省の担当政務官に対し、薬剤の開発をしっかりとやらないといけない旨、主張させていただいたが、薬剤開発、放任園対策等については、他市町村とも連携しながら、今後も国、県に要望を続けていく。また、被害の拡大防止のため、引き続き適時適切な薬剤散布の実施や耕種的防除の徹底について、農業協同組合等と連携しながら呼びかけていく。